

マハティール前首相、UMNO を離党 (2008.5.19)

No Big Impact Lah

相原啓人

(ロンドン大学東洋アフリカ研究院)

ロンドン時間 5 月 19 日に日付が変わろうとするまさにその時、携帯に一通のテキストがきた。

Dr M quits UMNO

その後、複数の友人達からも連絡があり、マハティールの UMNO 離党が確かな話であると認識した。これを受けて翌朝、UMNO をはじめとする与党関係者等と電話で話をし、今回の影響について意見を交わした。マハティールの UMNO 離党は特段大きな影響を与えることはないという点に集約された。

マハティールが特定の政治家を個人攻撃するのは今回が決して初めてではないことはよく知られている。しかし、UMNO 総裁を批判するのであれば、実効性は別としても、UMNO 内に留まっていた方が有効である。UMNO を離党し、特に新党を結成する意向がないのであれば、「前首相」という肩書きだけで批判することとなる。UMNO の党員は耳を傾けるだろうか。

さらに、今回の影響がさほど大きくならない理由は、他にもある。マハティール離党を受けて、与党関係者数名は、「取り敢えず、不確実性は去ったように思う」と述べている。次の一手が何かを明らかにせず、カードを胸の内に留めておくことの方が「不確実性」となり、効果がある。しかし、今回の離党行動によって、マハティールの手の内が明らかになったのも事実だ。まして、前回の総選挙結果を受けて与党各党が党勢回復に努めている時期だけに、尚更であろう。

今年度は、UMNO や MCA の党選挙が控えている。現時点では、UMNO の中央ではさほど大きな動きは予想されていない。アブドゥラからナジブへの権限委譲についてムヒディンに発言させたこと、マハティールがナジブと面会したことは、当面の間、ナジブの手足を縛ることになるだろう。一方で、UMNO 青年部長選には、マハティールの実子ムクリズが出馬し、アブドゥラの娘婿カイリーや前スランゴール州首席大臣のヒール・トヨと争うこととなる。また、MCA の党選挙はヒートアップが予想されている。

与党各党が自らの党勢回復に努めている現状下で、アブドゥラが他党に介入することは当面の間考えられない。それほど、前回の総選挙の影響は大きい。

マハティールどころではない。まずは、自らの党勢回復に努め、国会で anti-hopping law を通過、成立させて野党の勢いも削ぎたい。これが与党幹部のシナリオである。UMNO 幹部の 1 人はこう述べた。

Again, Dr M..., But this time, no big impact lah. ■